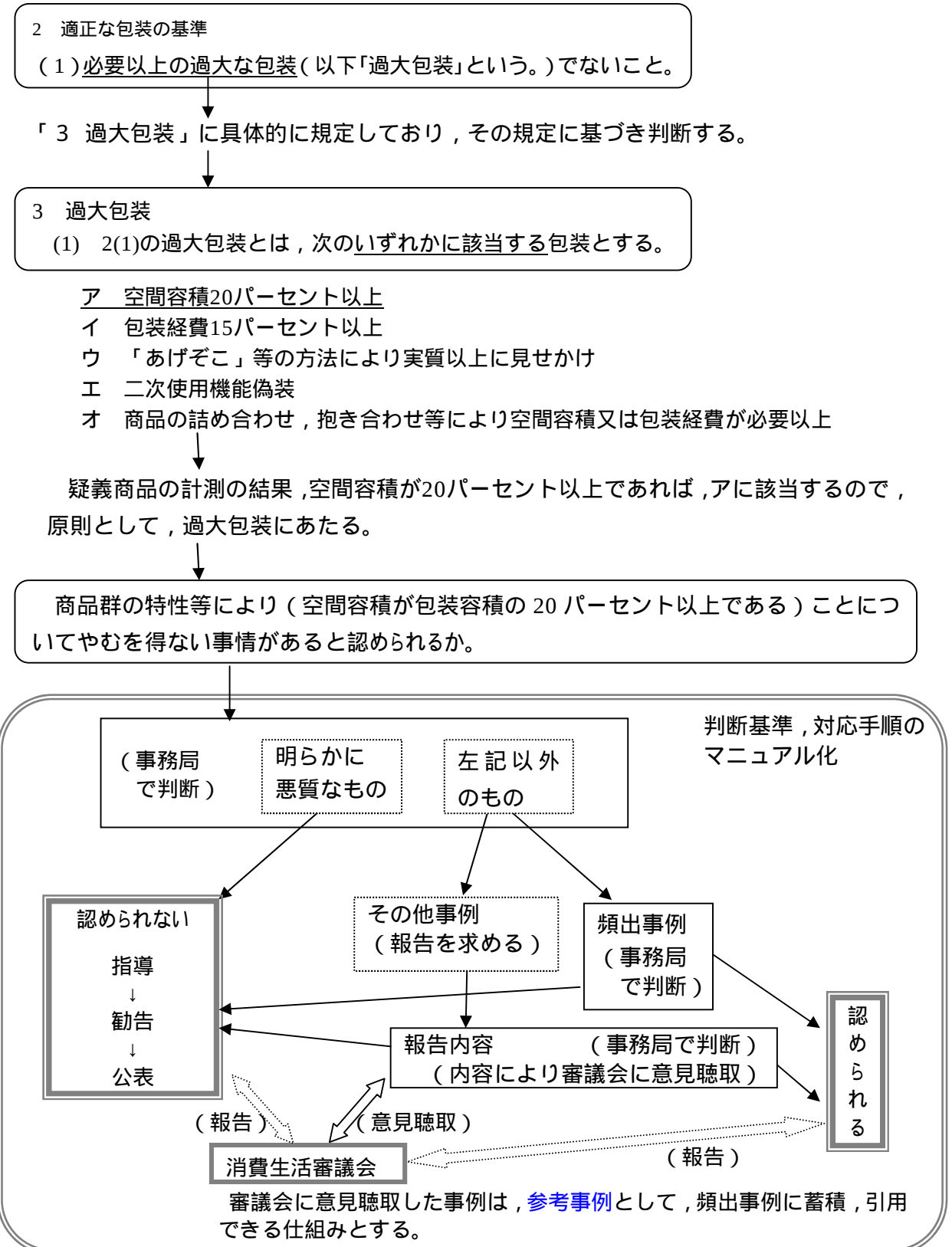


次回の検討方向

部会結果を踏まえ、今後の事務局案の方向を以下のとおり考えています。

1 包装基準による判定の体系(空間容積率の場合)

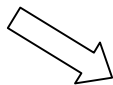
空間容積率から見た包装基準違反商品の判定の流れ



2 個別事項

(1) 要綱の改正

商品群ごとに過大包装の個別基準を審議会に諮り本市が制定 削除



課題	業界ごとに自主行動基準策定の働きかけ 公正競争規約との関係の検討・整理
----	--

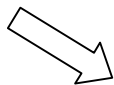
(2) 基準，要綱等の周知資料の作成

導入としての，「包装基準制定の趣旨」 時代に合わせた修正

基準，要綱の説明 規定の読み方の解説の充実

事例に即した解説の充実

計測時の易損品の扱いなど周知すべき事項の明示



課題	個別商品の検討 一般化できる事例の抽出
----	------------------------

(3) マニュアルの整備

基準，要綱の説明 対応手順の追加・整備

(審議会に意見聴取・報告する場合，指導・勧告・公表の手順など)

〔 マニュアルとして，(2)の周知資料をベースに，必要な事項を追加する。 〕